



ヘッドライナーの真空加熱プロセスに生かす赤外線

ベントレーコンティネタルの4ドアモデルと2ドアモデル用ヘッドライナーには、特殊設計された2台の赤外線加熱システムが使用されており、心地よいフィット感と耐久性の向上に貢献しています。

ヘッドライナーは内装トリムで、パッセンジャーコンパートメントのフロント上部に取り付けられています。コンティネタルのトリムは、基礎部品/ファブリック、接着剤、革張り部分で構成されています。ベントレーでは、最近、接着させる2つの素材の接着強度を5倍に高めることができる新しい接着剤を使い始めました。しかし、この新しい接着剤の特性上、タクトタイムを維持するためには、活性化温度である65℃まで加熱しなければなりません。

標準的な温風炉での加熱および接着では、基礎部品の生地とレザーの間にわずかな動きが生じることがあり、Bentleyの厳しい品質レベルに適合しませんでした。この問題を解決し、新しい接着剤の利点を生かすため、Bentleyはイギリス・ミルトンケインズにあるJSK Ultrasonics社に連絡を取り、ヘラウスの中波長赤外線ヒーターを組み込んだ総合トリムハンドリングシステムを導入しました。

実際のオペレーションでは、まず基礎部品のファブリックに接着剤をスプレーしたのち、真空プレス機で予めカットされたレザートリムの所定の位置に正確に配置します。その後、この位置合わせが維持されるように23.705kPaの真空圧力をかけます。次に、ハンドリングフレーム内の赤外線システムは、85℃に加熱された真空プレス機の上に所定の位置に移動されます。約3分間のPID制御サイクル時間の後には、熱の一部はメンブレン内で失われますが、加熱フレームが持ち上げられ、真空プレス機から外される際には基礎部品接着とレザーの間である接着ライン上では65℃に達しています。その後、完成したヘッドライナーは車両に取り付けられます。

実際には、2台の接着剤活性化用の赤外線システムが設置されています。1台は1本5kWの中波長赤外線ヒーターを15本搭載した4ドアモデル用、もう1台は合計108kWシステム2台を54kWユニットに分割した2ドアモデル用です。



特徴

- 接着剤乾燥
- ヘッドライナーのレザートリム

テクニカルデータ

- 赤外線加熱システム2台
 - 4ドアモデル用：5kWの赤外線ヒーター15本搭載
 - 2ドアモデル用：各54kWの赤外線ユニット2台
- 加熱時間：約3分
- 制御：PID

ヘラウス株式会社

ノーブルライト事業部 営業部

東京本社

〒112-0012

東京都文京区大塚2-9-3

住友不動産音羽ビル2F

Tel: (03) 6902-6601

Fax: (03) 6902-6613

ip.hkk@heraeus.com

www.heraeus-noblelight.jp

名古屋営業所

〒465-0095

愛知県名古屋市名東区高社

1-89 第二東昭ビル3階B

Tel: (052)725-9120

Fax: (052)725-9121